

広 報

のぼり

主 な 内 容

- 市の財政事情②—市の台所はどのように
..... 2・3・4・5 P
- 来年度の市立幼稚園園児を募集します…
..... 6 P
- 第2回いぶり伝統芸能フェスティバル
..... 7 P
- 退職被保険者に特例療養費の支給制度
..... 8 P

● No. 405 ● 昭和59年11月1日発行 ● 発行/北海道登別市 ● 編集/総務部公聴広報課 ● 印刷/大洋印刷



緑と大自然に囲まれて 第7回市民総合スポーツ祭

朝から“秋晴れ”の青空が広がった10月10日。ここ川上総合公園の多目的広場で、市民約1,700人の参加のもと第7回市民総合スポーツ祭が開かれました。

整備された芝生の上で、子どもたちは、元気一杯に剣道の野試合、空手の演武を披露していました。また、お年寄りたちのゲートボールや参加者全員による玉入れなども行われ、みんな心地よい汗を流し、広場は終日歓声にわきかえっていました。

川上公園は、幌別ダム下の9.4ヘクタールを、緑と大自然を生かした自由に遊べる大型公園として昭和56年から整備を進めています。その中心施設の一部である多目的広場が完成し、この日市民に開放されました。

今後は、野球場、テニスコート、レクリエーション施設も備えられ、市民スポーツの拠点、憩の広場として一層整備が充実されます。

11.1 '84

市の財政事情 ②

市の台所はこのように

特別会計

特別会計は、行政運営の基本的な経費を中心とした一般会計に対して、特定の収入をもって特定の支出にあてるために、一般の収入、支出とは別個に処理する会計です。

9月末現在、6特別会計の予算総額53億3391万円に対し、収入は37.7%、支出40.6%となっています。

市がいろいろな事業を進めていくなかで、それにかかる費用がどのように収入され、どのように使われたかをお知らせし、市の財政を正しく理解していただくため毎年2回、財政事情の公表を行っています。

今回は、昭和59年度の予算執行状況と昭和58年度の決算の内容を表とグラフでお知らせします。

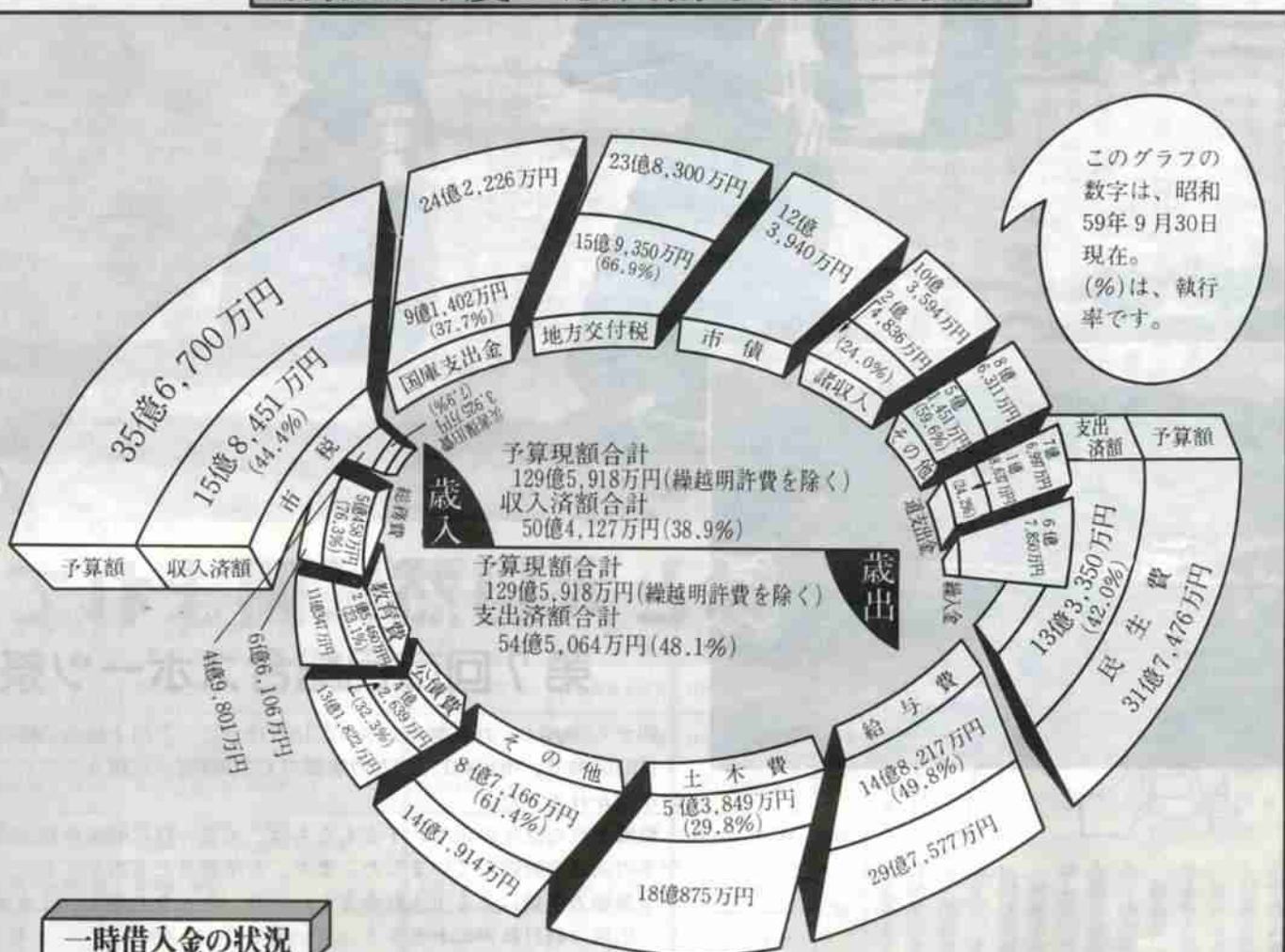
また、今年度の事業から、市内各所で進めている主な建築、土木事業を写真でご紹介します。

一般会計

今年度の一般会計は、126億1650万円でスタートしましたが、その後3回の補正で9月末現在では、129億5918万円となっています。

4月から9月までの収入済額は、50億4127万円で予算対比38.9%、支出済額は、54億5064万円で予算対比42.1%となっています。

昭和59年度一般会計予算執行状況



一時借入金状況

借入先	借入額
室蘭信用金庫	8億円
計	8億円

着々と進むまちづくり

↓ (なかよし公園新設事業) 子供達の新しい遊び場として、新生町4丁目に市内21番目の児童公園が完成しました。事業費560万円。



↑ (公営住宅建設事業) 昨年に引き続き柏葉団地(柏木町)に5階建て1棟20戸と2階建て1棟4戸が建設されています。入居開始は12月の予定です。事業費2億723万円。

特別会計

(単位：万円)

特別会計名	予算現額	収入額		支出額	
		収入率(%)	支出率(%)	収入額	支出額
老人保健	248,246	43.2	107,185	42.0	104,386
国民健康保健	193,989	36.5	70,884	34.2	66,438
学校給食事業	45,310	24.0	10,874	42.4	19,218
公共下水道事業	27,230	31.4	8,562	57.2	15,584
観光事業	10,941	25.5	2,787	54.4	5,947
亀田記念公園	7,675	11.6	890	65.5	5,024
計	533,391	37.7	201,182	40.6	216,597

昭和59年9月30日現在

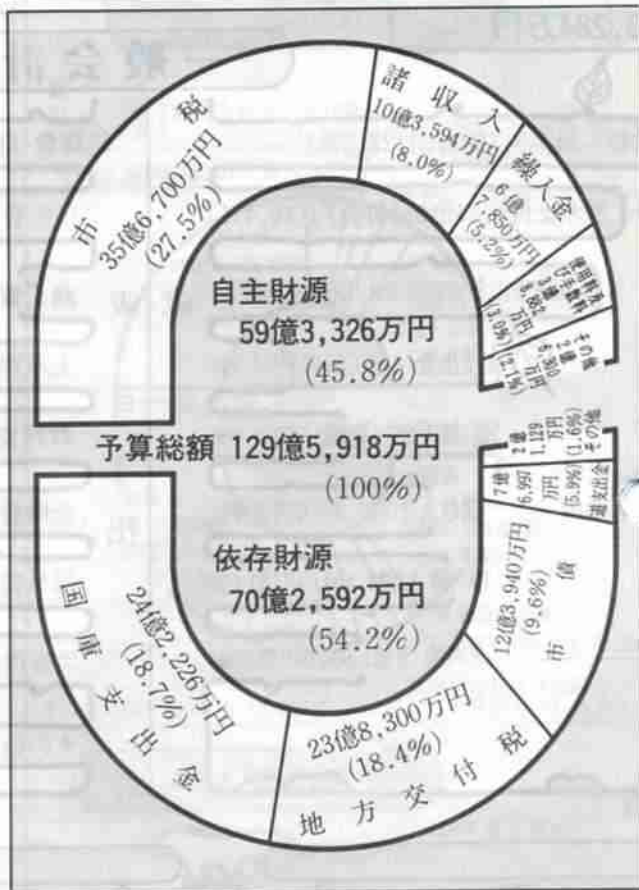
水道事業会計

(単位：万円)

区分	予算額	執行額	執行率(%)	
収入等の額	収入総額	73,070	21,454	29.4
	補てん充当額	7,485	0	0
	計	80,555	21,454	26.6
支出総額	80,555	25,739	32.0	

昭和59年9月30日現在

一般会計予算財源の内訳



市税の内訳

予算総額 35億6,700万円 (100%)

- 市民税 16億8,639万円 (47.3%)
- 固定資産税 11億1,221万円 (31.2%)
- 市たばこ消費税 2億8,400万円 (8.0%)
- 都市計画税 1億6,774万円 (4.7%)
- 入湯税 1億4,849万円 (4.2%)
- 電気税 1億3,772万円 (3.8%)
- その他 3,045万円 (0.8%)

ナト岡志別川災害関連復旧事業) 昨年9
大雨で氾濫した同河川の復旧事業として、
は、河口部分の護岸工事、国道ボック
工事などが進められています。完成予
0年度。

↓ (片倉通り歩道舗装事業) 通学児童や通行
人の安全を図るため、総事業費1461万円で延
長422.6m幅員1.5mの歩道が完成しました。



↑ (鷺別公民館新築事業) 鷺別地区の文化・コミュニティ活動の拠
点として来春オープンを目指して工事が進められています。鉄筋コ
ンクリート2階建て延べ1350平方m。事業費2億8500万円。

昭和58年度 決算内容

入
128億3,284万円

歳 出
126億2,901万円

一般会計

市税 34億9,153万円(27.2%)

地方交付税24億9,461万円(19.4%)

国庫支出金 23億8,351万円(18.6%)

道支出金 4億9,594万円(3.9%)

繰入金 6億240万円(4.7%)

諸収入 10億7,995万円(8.4%)

市債 13億6,496万円(10.6%)

その他 9億1,994万円(7.2%)

総務費 8億1,105万円(6.4%)

民生費 27億4,478万円(21.7%)

商工費 3億9,185万円(3.1%)

土木費 18億7,080万円(14.8%)

教育費 11億9,987万円(9.5%)

公債費 13億671万円(10.3%)

給与費 28億663万円(22.2%)

災害復旧費 3億9,099万円(3.2%)

その他 11億633万円(8.8%)

昭和58年度は、中浜市長の2期
市政の初年度であり、今後4年間
の政策執行の目標をたてる「基準
年度」と位置づけをして、市民の
暮らしを最重点におき事業を進め
ました。

一般会計収入総額は、128億3284
万円、支出総額は126億2901万円と
なり、差し引き2億383万円の黒字
決算となりました。この黒字分は
全部59年度へ繰越しました。

1人当たり支出額 212,520円

負担額 2,976円



48億2,697万円 歳入 (計) 歳出 45億5,755万円

6,123万円
7,007万円
1億3,787万円
4億2,390万円
19億6,716万円
21億6,674万円

亀田記念公園
観光事業
公共下水道事業
学校給食事業
国民健康保険
老人保健

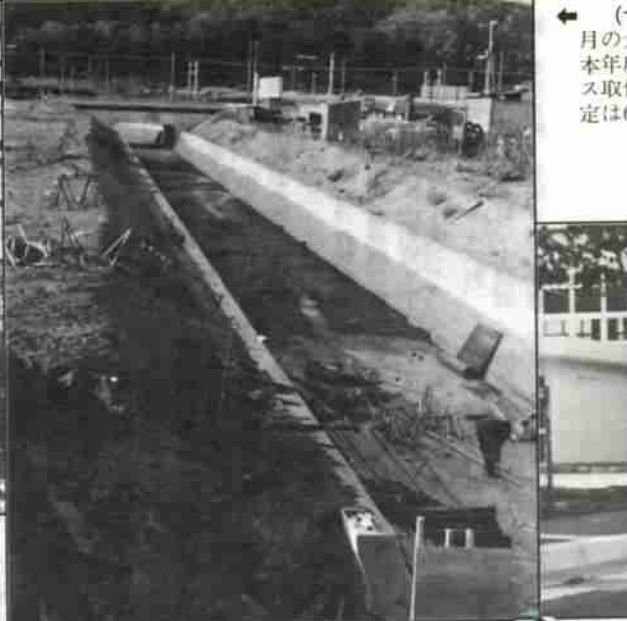
6,123万円
9,120万円
1億3,787万円
4億2,385万円
18億6,988万円
19億7,352万円

特別会計

6つの特別会計の予算総額は、
49億2995万円となり、これに対し
収入額は、48億2697万円、支出額
は45億5755万円で、差し引き2億
6942万円の黒字となりました。



↑ (鉄南ふれあいセンター新築事業) 福祉・ボランティア活動の場として鉄筋コンクリート3階建て延べ1245平方メートルで建設されています。事業費2億5千万円。



← (月の本取定)

社会課は、福祉関係全般について担当している課です。社会福祉係と母子児童係の二係のほか、各保育所もこの課の所管です。

◎社会福祉係
この係の主な業務は、老人の福祉に関することと心身障害者の福祉に関することです。お年寄りのための主な業務としては、身体上または精神上の障害などで日常生活に障害のある家庭に、家庭奉仕員が出向いて食事や洗たく、掃除など身の回りのお世話をする老人家庭奉仕員派遣制度の仕事、六十五歳以上のすべてのお年寄りを対象に年一回、敬老の日になんでお渡ししている敬老年金の仕事、経済的に恵まれないおおよそ六十歳以上の一人暮らしの老

人世帯と近所のボランティア世帯とを結びインターネットを無料で設置する愛のインターネット設置制度などの仕事を担当しています。

体が不自由な方のための業務としては、重度の身体障害、または精神障害で療養している方に対する福祉手当の支給の仕事や障害福祉年金支給の仕事、重度心身障害者、六ヶ月以上家庭で介護している方に対する重度心身障害者介護手当の支給の仕事などを担当しています。

このほか、日本赤十字社に

こいちは市役所です ⑥

— 社会課 —

関すること、民生委員に関すること、災害救助に関することなどもこの係の仕事です。

◎母子児童係
主に母子福祉や児童の福祉について担当している係です。

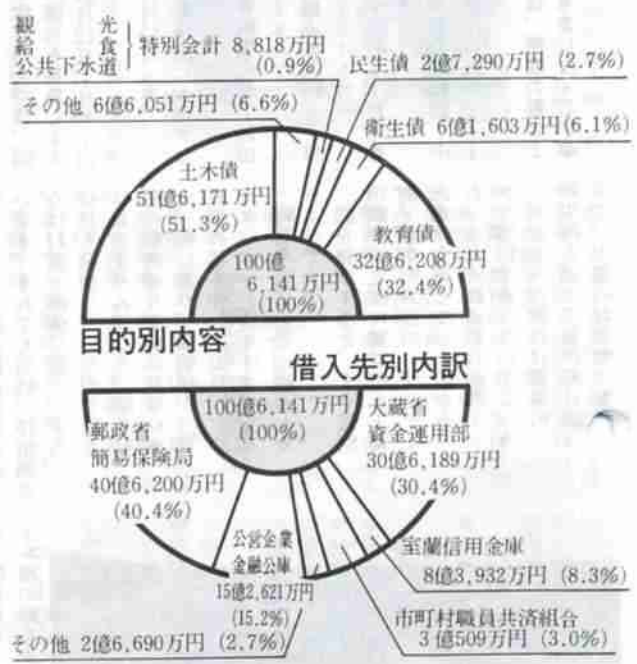
母子家庭などのための業務としては、二十歳未満の子供を養育している母子家庭などの生活安定の向上と、児童の心身ともにすこやかな成長のためにお貸しする母子福祉資金貸付制度の仕事や、生活や悩みごとの相談をはじめ、児童の非行や心身障害、登校拒否、施設入所などの相談をお受けする母子児童相談などの仕事があります。

子供たちのための業務としては、十八歳未満の子供を三人以上養育している方で、三人目以降の義務教育終了前の子供が対象の児童手当の事務や、二十歳未満の重度または中度の心身障害者を養育している方に支給する特別児童手当の仕事などを担当しています。

このほか、児童扶養手当の事務や乳幼児医療費の助成に関する事務、災害遺児手当の支給事務、重度心身障害児介護手当に関する事務なども担当しています。

また、市立保育所の運営管理やその園の管理運営に関することもこの係の仕事です。

市で借りているお金 市債元金のみ



市有財産の内訳

(昭和58年度末現在)



来年度の市立幼稚園 園児を募集します



港町、高浦町の全域
募集人員

▽富士幼稚園：男子40名、女子40名

▽若草幼稚園：男子40名、女子40名

▽登別温泉幼稚園：男・女合わせて40名

※いずれも2年保育です。

（入園願書の配付と受付）

●配付受付期間：59年11月19日（月）から22日（木）までの4日間、時間はいずれも午前9時から午後4時30分まで

●配付受付場所

▽富士幼稚園：富士町7丁目1番地1（田⑤9511）

▽若草幼稚園：若草町2丁目11番地（田⑥1722）

▽登別温泉幼稚園：登別温泉町92番地7（田④2865）

（応募手続き）

●所定の入園願書の配付を受け、提出してください。

●住民票家族全員の謄本一通と同伴誓約書を添付してください。

●印鑑を持参し受付で入園願書を記入提出してもよろしいです。

（入園の決定）

●応募者が定員を超えたときは、公開抽選により入園を決定します。

●公開抽選は次の日程により、各幼稚園で行います。

▽富士幼稚園：11月27日（火）午後1時から

▽若草幼稚園：11月26日（月）午後1時から

▽登別温泉幼稚園：11月28日（水）午後1時から

●抽選の方法

▽男女別定数の場合は、男女別に抽選し決定します。

▽双生児の場合は、二人を一口くたさい。

して抽選し決定します。
（入園の許可および取り消し）
●抽選後、入園審査を行い、集団生活に適應できると認められた場合は、「入園許可書」を交付します。

●入園を許可した幼児が入園できなくなつたときは、抽選順に補充します。

●入園決定後においても、入園資格に反していることが認められたとき、および心身の異常により著しく園生活に支障があると認められたときは、入園を取り消すことがあります。

（経費）

●入園料：2,000円

●保育料：4,000円

●行事費、教材費、絵本代、その他保育用品代がかかります。

私立幼稚園 でも募集

でも募集

登別市私立幼稚園協会では、昭和六十年年度の入園児を募集します。

●願書配付：11月12日（月）～14日（水）まで

●願書受付：11月15日（木）

※詳しくは、各幼稚園におたずねください。

▽白雪幼稚園：登別東町4丁目19番地（田③1162）

▽登別文化幼稚園：登別町2丁目17番地（田⑥7545）

▽白菊幼稚園：中央町1丁目16番地（田⑤2545）

▽登別カトリック聖心幼稚園：中央町7丁目15番地（田⑤2414）

※ふれあい広場は、紙面の都合上、休ませていただきました。ご了承ください。

郷土史探訪

96

陸蒸気、登別を走るⅡ

明治二十五年、北海道炭鉱鉄道室蘭線開通当時の旅客賃金は、幌別・室蘭（現輪西駅）間が十二銭、幌別・登別間は七銭でこれは並等車の料金です。当時、米価が十キロ約五十五銭であることからみて安くない料金であったことでしょうか。

当時の汽関車は米国型で、開設時の弁慶号、しづか号で知られる牛よけの「カウキヤッチャー」を前部に取りつけたのが特色で、北海道の場合、雪除けの方が実用的であったでしょう。

さて、最初の幌別停車場は、現栄町一丁目旧帝國酸素付近にありましたが、幌別村落から離れて不便なことから現在地に変更されています。それでも当時、停留場からは村路が浜側に遠く、また砂丘も発達していたので町並は見えませんでした。昭和初期の駅前通り東側は草深い葎が一面に繁り、幌別川が三日月形の沼を作っており、ドロドロカクベツ、ドロカワツブなどと呼ばれていた由縁もわかるようです。

駅を発車すると、すぐ幌別川鉄橋で北側に幌別川と上幌別・若草町方面のトブシナイ沢水が合流していたのがみられ、これが鉄道敷設前のトンネル川口であったのでしよう。

車窓からの景色は若草町、新生町を過ぎて富岸町に至るまで、山麓の針葉樹の繁

と低いカシワの樹や萩などが生えるほかはほとんど草原でした。富岸近くになると車窓北側に輪西屯田除隊後の人達や讃岐地方の入植者により開墾された水田が遠くに見られ、富岸鉄橋を過ぎた南側は牧場地帯が海岸まで続き、緑の草原に柏の樹木も繁り、点々として牛が放牧されていたのを思い出します。恐らく十数年前には見られた田村牧場ですが、現在はその面影の一片もありません。

汽車が大和町一丁目になると緑町・青葉町へ通ずる踏切りがあり、「札幌本道踏切」と命名されています。「札幌本道踏切」と命名されていることから、ここから鉄道の北側（旧札幌本道が通じていたことも分り、明治二十五年の過去にさかのぼる踏切りが残されているのも珍しいことです）

幌別と富浦間、幸町・新栄町は明治十五年以降、香川・淡路県人に開拓されましたが畑作で成功せず、馬の放牧場に使われた場所が多くなりました。ところが、木柵から抜け出した馬は遠慮なく線路上に上がり、汽車がきても避けようとせず、馬の轢死事故は前記・札幌本道踏切りから富浦間で多く発生しました。

不思議に横に避けず、汽関車が近づくと線路上を直線に走りだす馬の死傷事故は、飼主が罰せられるので申し出る者もなく、処理する鉄道保線区でも深く詮索せず、寛大でした。これは、馬が荷物運送の主要な役を果たす交通機関であり、またカウキヤッチャーなどの取りついでに事故に至らなかつたことが要因でしょう。

登別市郷土文化研究会
宮武 伸一記



車窓からみた田村牧場（昭和37年頃）

第2回いぶり

伝統芸能フェスティバル

荒々しい北の大地・北海道で開拓のクワをふるうかたわら、荒涼たる原野の開拓生活とともに伝承されてきた胆振管内の郷土芸能が上演されます。

荒削りで粗野ななかにも味わいをもつ伝統芸能のフェスティバルに多数のご来場をお待ちしています。

▽日時 11月11日(日) 午前9時45分～午後3時30分

▽場所 市民会館

▽入場料 無料

▽問合せ 胆振支庁広報青少年係 (TEL0143-2219131)

※なお、登別からの出演団体は次のとおりです。

▽少女北海太鼓、子宝もちつき舞

▽講習料 一人三千円(傷害保険料を含みますが、リフト代は別です)

▽講師 全日本スキー連盟指導員

▽申込方法 開田医院(幌別)、紀文堂(登別駅前)、どうなん興産(登別温泉)に用意してある所定の用紙に必要事項を記入のうえ、どうなん興産株式会社内、親子スキー教室受付係(登別市温泉町26)に申し込みください。

▽日時 11月14日(水) から5回 午後1時～3時まで

▽場所 登別温泉公民館

▽講師 諏訪英雄(全道展友友)

▽費用 教材費として一回につき五百円程度

▽定員 30名

▽申込・問合せ 登別温泉支所 (TEL2068)

親子で滑ろう

親子スキー教室

登別スキー連盟では、親と子が一緒になって楽しく滑る親子スキー教室を次のとおり開催します。お気軽に申し込みください。

▽日時 60年1月3・4日

▽場所 カルススキー場

▽対象 小学生とその親

▽定員 40名(先着順)



今年の夏の甲子園選手権大会、来年度の甲子園選手権大会と、来年春の甲子園選手権大会を記念して、市民会館で写真展を開催します。

市民会館で写真展

高校野球この一年

市内各地区のおかあさんコーラス、中・高校生の合唱部、少年少女合唱団が出演する第七回合唱のつどいが次のとおり開催されます。

▽日時 11月15日～30日まで/午前9時～午後10時

▽場所 市民会館・一階廊下

▽問合せ 市民会館(TEL1100)

▽定員 20名

▽受講料 無料

※申し込み、お問い合わせは婦人センターへ。(TEL33511)



札内神楽獅子、幌別鉦山獅子舞、能舞、湯鬼神かぐら、幌別駒おどり

多数のおこしをお待ちします。

▽主催 市民文化祭実行委員会、文化協会コーラス部

▽日時 11月17日(土) 午後2時30分から

▽場所 市民会館

▽入場料 無料

▽問合せ 古田幸代さん(TEL56244)

▽定員 30名

▽用意する物 筆記用具(カメラのある方は持参ください)

▽申込受付開始 11月5日から

▽申込・問合せ 市民会館(TEL1100)

ふるさとシンボジウム

テーマはまちづくり

▽日時 11月16日(金) 午前10時～正午まで

▽場所 婦人センター

▽定員 20名

▽受講料 無料

※申し込み、お問い合わせは婦人センターへ。(TEL33511)

市教育委員会では、ビデオカメラ

初心者を対象に

ビデオカメラ教室

市営住宅の入居者募集

柏葉団地市営住宅の入居者募集

市では、今年12月の完成予定で柏葉団地市営住宅(柏木町4丁目)を建設中です。入居を希望される方は、次のとおり申し込みください。

- 〈第一種耐火構造〉
- 募集戸数 4戸
- 家賃 38,000円
- 入居可能予定日 59年12月1日
- 〈第二種耐火構造〉
- 募集戸数 20戸
- 家賃 28,000円
- 入居可能予定日 59年12月26日
- ▶募集期間 59年11月5日～17日まで

▶入居資格・申込方法 市営住宅に入居しようとするためには、収入などの制限がありますので、入居資格・申込方法を詳しく記入した「市営住宅入居募集案内」をごらんください。案内書は、市役所建築課または各支所にあります。

▶申込先 建築課 (TEL2111) 内線288

新着図書案内

市立図書館 TEL54324



上海ララバイ(村松友規) 北海道の淡水魚(稗田一俊) 手のぬくもり北国の染と織(木内綾) 飯場女のうた(井尻光子) 東土の共和国(金元祚) 歯の健康と子どものからだ(落合靖一) 続師乱れて(大井篤) 紀行モロコシ(那谷政郎) 愛のごとく(渡辺淳一) 泣かない女(畑山博) 恋文(連城三紀彦) 獅子座(藤雪夫) 夢野(大庭みな子) 証言する民(大石芳野) 風流キノコ譚(今関六也) 達魔物語(津島佑子) 風色の望郷歌(伊藤信吉) 北の時代(秦恒平) 陽が昇るとき(木々康子) 沈床(三好京三) 官僚たちの八月十五日(佐瀬稔) 還らざる出撃(松永憲生) ツルはなぜ一本足で眠るのか(小原秀雄) 海軍兵学校よもやま物語(生田寿) 夜店(三瓶忠史) いつも音楽があった(倉本聰) オリジナルの使徒(大野芳) 雷神、翔ぶ(丸山健二) マラソンは芸術です(木村幸治) オタマジャクシ酷笑曲(岡村喬生) 五十歳、いざ(高田宏) たたかいはいのち果てる日まで(向井承子) 死と死(千田夏光) 出会った縁(佐多稲子)

退職被保険者に 特例療養費の支給制度

退職者医療制度は十月一日にスタートしましたが、退職被保険者の資格がありながら適用を受けず、一般の国保により給付を受けた方で次のような時はさかのぼって給付を受けることができますので手続をおとってください。

○年金受給権が発生しているが、やむをえない理由で退職被保険者の加入届出が遅れ、その間に

一般の国保被保険者として病院で療養を受けた場合
○退職被保険者証を忘れ、一般の国保被保険者として病院で療養を受けた場合
以上のような場合、自己負担額の差額分(一割分)を特例療養費として支給を受けることができます。
〔自己負担額〕
一般の国保加入者の自己負担額

3歳児健康診査

医師、歯科医師、保健婦、栄養士による3歳児健康診査を実施します。

▽内容 心身の発育状況、歯科検診、尿検査、栄養指導、生活指導

▽実施月日・会場 11月14日/警別公民館

▽受付時間・対象地区
○午前10時～11時：警別、美園、上警別、若山3・4丁目
○午後1時～2時：若草、新生、高岸、栄、大和

▽対象児 56年7月1日～10月31日までの出生児と前回受診もれの幼児(ただし、56年3月1日～6月30日までの出生児で満4歳児を除く)

▽用意するもの 母子健康手帳
※対象以外の地区については、次



回にお知らせします。また、尿検査は会場で行いますのでご注意ください。

3カ月検診

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

▽日程・会場・対象地区
11月28日：婦人センター(登別、登別温泉地区)
11月29日：警別公民館(警別地区)
11月30日：労働福祉センター(

ふれあう心の合言葉

一、親切をつくしきまりを守って、明るく住みよいまちをつくりましょう。

不用品ダイアル市



⑤2111
内線257

おわけします(売り)

学習机(木製)、ベット(シングル、セミダブル、ダブル)、ベビーバス、ベビーラック、歩行機、電気もちつき機、ステレオ一式、自転車(小低学年)、スキー、ギター、石油ストーブ(ポット式、温風式)、ストーブガード、冬タイヤ(615-13、645-13)、足踏ミシン、磁気フットマット、給湯湯沸器

ゆづってください(買い)
和ダンス、ソファー(3人用)、学習机(スチール)、ベビーバス、ベビーカー、電気カーペット、自転車(幼児用、小学校高学年用、婦人用)、エレクトーン、石油ストーブ(ポット式、持ち運び式)、冬タイヤ(600-12)イク(250cc)、バスオール、冷蔵庫、電動式水中ポンプ、室内すべり台、写真引伸器、百科辞典、二段ベット

母子・児童相談

子供の非行や登校拒否、しつけ、

▽受付時間 正午～12時15分(ただし、婦人センターは12時30分～12時45分まで)

▽対象児 59年8月出生児(ただし、婦人センターは59年7月、8月出生児)

▽日時 11月12日(月)午前10時から午後3時まで
▽場所 登別公民館

特設人権相談所

札幌法務局室蘭支局、室蘭人権擁護委員協議会では、特設人権相談所を開設します。

人権問題、そのほか借地・借家、金銭貸借、登記、戸籍、家族の問題など日常生活でお困りの方は、お気軽にご相談ください。(秘密は固く守られます)

新入学児童の健康診断



市教育委員会では、来年四月一日から小学校へ入学するお子さん

の健康診断を次の日程で行います。対象となるのは、五十三年四月二日から五十四年四月一日までに生まれた児童です。

新入学にあたっての健康指導や入学後の保健指導に役立てる大切な健康診断ですので、もれなく受診してください。

対象者のいるご家庭には、すでに健康診断通知書をお送りしていますが、まだ届いていないご家庭は、市教育委員会学校教育係へご連絡ください。

(TEL)1100内線16または17

昭和60年度 就学時健康診断日程表

入学指定校	通学区	歯科検診等		知能検査	
		日時	会場	日時	会場
幌別小学校	中央町、常盤町、千歳町、米馬町	11月9日(土)13:00～	市役所第2庁舎	11月12日(月)13:30～	入 学 指 定 校
幌別西小学校	富士町、新田町、片倉町、柏木町、川上町、龍山町	11月12日(月)	市民会館	11月19日(日)14:30～	
幌別東小学校	幌別町、幸町、新栄町	11月14日(水)	・	11月12日(月)13:00～	
青葉小学校	緑町、桜木町、青葉町、大和町1丁目、若山町1・2丁目	11月14日(水)	・	11月15日(木)14:30～	
蟹別小学校	蟹別町、栄町1・2丁目	11月7日(木)	蟹別公民館	11月12日(月)13:30～	
若草小学校	美園町、若草町、上警別町	11月8日(金)	・	11月15日(日)13:30～	
登別小学校	登別本町、登別東町、登別西町、高浦町、札内町381番地、中登別町(219番地を除く)	11月13日(火)	登別婦人センター	11月15日(木)13:00～	
登別温泉小学校	登別温泉町、上登別町、カールス町、中登別町(219番地)	11月6日(土)	登別温泉公民館	11月15日(木)13:00～	
札内小学校	札内町	11月13日(火)	登別婦人センター	11月15日(木)13:00～	
富岸小学校	新生町、富岸町、若山町3・4丁目、栄町3・4丁目、大和町2丁目	11月15日(木)	警別公民館	11月12日(月)14:30～	